

中心市街地活性化に向けた今後の取り組みは

花のまち田原市と感じてもらえるような空間づくりをしていく



鈴木 和基
自由民主党田原市議団



田原市街地の活性化について

問 中心市街地では、ハード面の整備や都市施設の誘導などが進められてきたが、さらなる活性化が求められる。中心市街地活性化に向けた今後の取り組みについて考えは。

答 シンボルロードである田原駅前通り線の街路樹の花木の植え替えや、田原駅前広場とロータリーにおける花壇やフォトスポットの整備に取り組んでいく。また、ララグランなどを活用し、市民だけでなく来訪者にも、さすが花のまち田原市と感じてもらえるような空間づくりをしていく。一方、低・未利用地の活用については、サウンディング型市場調査を実施し、民間活力の導入を視野に入れながら、活性化に向けた土地利用を検討していく。

問 田原市街地の人口を、策定中の第2次総合計画の人口推計に基づき算出すると、令和2年から計画の最終年度である令和15年までに約1,300人減少すると推計される。田原市街地における人口減少対策の取り組みは。

答 空き家・空き地バンクの活用、空き家の改修や解

体への補助による不動産の流動化、さらには、田原市民間宅地開発奨励金制度の活用により宅地開発を促進し、居住を誘導していく。

問 中心市街地における景観まちづくりについて、今後の市の方向性は。

答 花木や花を活用した花のまちにふさわしい景観づくりと、中心市街地の中で最も特徴のある旧城下町の歴史を生かした景観づくりを中心に、田原中部地区景観まちづくり検討会などの団体や市民と一緒に景観づくりに取り組んでいきたい。



- 問** 中高一貫教育推進委員会における教育委員会の役割は。全体計画や教育課程部会など3つの部会の活動計画の検討等において、持続可能な取り組みが推進されるよう意見を述べたり、必要な支援を考えたりしている。
- 問** 計画的に部会を開催し、中高の教員が定期的に情報発信をしていくと良いと考えるが。
- 答** 2校による情報交換会「すまいる会議」は毎月1回開催され、3部会の活動の調整が行われている。
- 問** キャリア教育の実践には、スクールサポーターが有効だと思うが。
- 答** 地域の方々の協力を得ながらキャリア教育を進めていくことは有効であり、6年間を通じたキャリア教育が推進されるよう福江中学校の計画に合わせスクールサポーターが配置できるよう努めていく。

連携型中高一貫教育の取組について

教育委員会としては、持続可能な取り組みとなるよう連携していきたい

連携型中高一貫教育の取り組みの方向性は



小川 貴夫
自由民主党田原市議団

